

夏の暑さを



遠賀川保育園にて

指定管理者制度導入へ！

2P

補正予算総額 4,252万円の増額

4P

一般質問

～6人の議員が町政を問う！～

5P

町を思うひとり言

11P

制度導入へ！



図書館指定管理委託料(平成18年9月から平成19年3月まで)
2,699万5千円の補正予算計上

町立図書館

9月1日より
指定管理者へ

移行

本定例会において、遠賀町立図書館の指定管理者の指定についての議案が上程され、重要な案件として委員会において慎重な審議が行なわれました。

去る5月9日に、指定管理者選定審査会において、(株)図書館流通センターが選定されました。

指定管理者制度の導入により、町職員の引き上げに伴う予算の減、司書の長期雇用による専門性の確保、開館時間の1時間延長などのサービスの向上や新しいサービスの充実などのメリットがあると、執行部からの提案があり、議会で可決されました。

指定管理者

◆委員会での争点◆

Q 指定管理者の導入により、いくら経費が削減できるのか。

A 平成18年度で313万円、19年度は613万円の減額。

Q 民間の活力による事業展開とは具体的にどのようなことか。

A 子供や高齢者、障害者など、それぞれの立場から見たサービスの向上。

Q 図書館に対する要望や苦情などの声はどこで対応するのか。

A 月に一度は、指定管理者と事業内容を協議して、改良する点は指導する。

Q 一時間の開館時間延長にはどう対応するのか。

A 現在8名の臨時職員を、早出・遅出のローテーションを組んで対応する。予算としては43万8,000円の増額。



◀ 整然と並ぶ書架



6月 第3回定例会

6月定例会は6月13日に開
会され、22日までの10日間
の会期で開催されました。

専決処分の承認、条例の一部改正や補正予算など議案19件、
意見書案4件が上程され、慎重審議が行われました。



木守地内にある用地

県道宮田・遠賀線の側道用地
として整備するため、購入する。

・街路事業費の公有財産
購入費に
1,328万円

・庁舎機械室及び学校機械室アスベスト除去工事費に1,805万円

庁舎機械室及び小・中学校の機
械室アスベスト除去工事費として
計上する。
今回の工事完了で庁舎と各小・
中学校のアスベストは除去される
ことになる。

▶ 庁舎機械室のアスベスト



特定防衛施設周辺整備調整交付金で
整備された鬼津・若松線の歩道

意見書案第3号
「仕事と生活の調和推進基本法」(仮称)の制定
を求める意見書
意見書案第5号
基地対策予算の増額等を求める意見書

意見書案は、継続審査の意見書案を含め4案あつ
たが、2案については審議未了となった。他の2案
については採択された。

補正予算総額4,252万円の増額

一般会計予算総額55億9625万円

意見書

～関係大臣に送付しました～



地域福祉は、民生児童委員・主任児童委員の増員が必要だ。



ますぞえ きよみ
舩添 清美 議員



19年度の改選に向け関係者と十分協議して行きたい。



◀地域で活動する民生児童委員

一般質問

益々求められる
地域福祉活動の担い手

議員 民生委員法第4条
に基づく定数は、世帯数
70から200までの数の世帯
ごとに1人の定数。また、

この基準は各市町村長の
意見を聞いて定めるとあ
る。(現定数33人)

現在本町の世帯数は約
7千世帯あり高齢化も進
んでいる。

仮に 200世帯の基準では
35人の定数となる。さら
に、基準を超える地区も
多くあるため、40人を越
える定数は可能と思うが、
増員要望をする考えはあ
るか。

町長 来年度の要望時期
までには、高齢者世帯数
や地域の状況など総合的
に検討し、民生児童委員
や地域の役員と十分協議
を行い、必要であれば県
知事に対し増員要望した
いと考えている。

議員 民生委員法第 20条

の主任児童委員の配置規
準は、民生委員協議会の
規模に応じ定数39人以下
は2人、40人以上は3人。
(現定数2人)

次期改選で民生児童委
員の定数が 40人になると
1人の増員が可能となり、
小学校の校区別に配置で
き、活動が容易になると
思うが。

町長 民生児童委員が40
人になると、主任児童委
員が3名になるから40名
に増やせという事ではな
く、地域の実情に照らし
合わせて考えていかなけ
ればならない。

また、学校評議員や学
校に関わる方たちとの連
携をとる事も必要だ。

現在、2人の主任児童
委員には児童問題や登下
校の見守りなど積極的な
活動をして頂いている。

今後、各校区を取り巻
く状況や問題に対し、主
任児童委員の意見を十分
に聞き、また、地域の役

員・民生児童委員の意見
を伺いながら、十分協議
をして行きたいと考えて
いる。

きめ細かな支援の手

議員 指定管理者導入施
設への雇用促進や、直営
施設など障害の程度にあ
った雇用の確保ができな
いか。

町長 行政や民間企業は
障害者雇用規定が定めら
れており、指定管理者に
なるべき相手は、障害者
雇用推進をしていると認
識している。

本町の施設部分につい
ても、障害者の方でも雇
用が可能な部分について
は、少しでも働く場の提
供や、全般的には高齢者・
若者・障害者の方が働け
る部分など、制限をかけ
る事なく募集していくよ
う考えている。

Question



たひら せいしろう 議員
田平 征四郎

一
般
質
問

Q 教職員の配置及び校地等の管理は万全か？

A

万全とはいえない、今後も努力をしていきたい。



職員室の様子

議員 本町の一小学校で、校長・教頭を除き、男性教員が3人で女性教員が7人ということで、男女の比率が少し偏っていると思うが。

教育長 男女の比率については、私も気にしている。北九州教育事務所に来年度もう少し比率を改善していただくよう申し入れる。

議員 教員の年齢が、高年齢になりつつある。あまり良い状況ではないと懸念しているが、どう考えるか。

教育長 北九州教育事務所管内では、20代の教員が29名で、1校に1人いる。尋ねる。20代は28名、40代は946名である。

今後、教育事務所間の年齢の構成を変えるよう働きかける。

また、町内の学校のアンバランス、これについては努力していきたいと思う。

議員 校長室には、公費でパソコンを設置するのが妥当と考えるがどうか。

教育長 学校には公費で何台か入っている。インターネットと接続したものが各学校一台と事務室に置いてある。職員室に置いてある学校など、各校数台という状況である。

これまで使っていたものや古くないものを各校に配置する。校長室には、ある面から言う必要と思う。校長室にも一台置くよう指導したい。

議員 本町五校で校地等の改修、補修の必要な学校はないか尋ねる。

教育長 規模等の違いはあるかと思うが、島門小学校の建築は昭和40年、遠賀中学校は43年、浅木小学校は45年、広渡小学校は53年、遠賀南中学校は58年に建築している。

いずれも、20年以



雨水の跡が残る校庭

上経過している。どの学校にも、経年による改修、補修の必要な部分は出てきている。

学習に支障を及ぼすようなものから改修してききた。また、大規模改修等により順次改善を行っている。

各学校から多数の要望が出てくるが、緊急を要するものから、町長部局とも相談し、順次改修していききたい。

Question



本町の農家及び農業団体の 農業経営に将来性はあるのか



はまおか みねさと
浜岡 峯達 議員



コスト削減と共同経営の
中で関係団体と取り組みを
推進していく。



◀ 米の収穫作業風景

一
般
質
問

議員 今後の農業政策に
どのように向き合ってい
くのか。

町長 機械利用組合等の
法人化と複合経営の二つ
の方針で対処していく。

議員 良料農業基本計画・
経営安定対策等大綱につ
いて率直な感想を聞きた
い。

町長 地域農業と、農業
者の生活の安定を図るた
めに、この法案も必要な
のかというのが率直的な
考えである。

議員 担い手育成の支援
策について、今後どのよ
うに支援をしていくのか。

町長 担い手と認定を受
けた方については、今後
でも、制度が変わったこ
もその担い手要件を満た
した方に補助をしていく。
その考えは変わらない。

議員 農業従事者の人材
育成や、確保はどのよう
に考えているか。

町長 営農組合が北部に
3つあり、これを中心に

担い手という形はとれる
だろう。また中部・南部
については、機械利用組
合が出来ているし、地域
営農組合の考え方もあり、
協議を十分やっていきたく
い。

議員 本年度、農政改革
関連法案が成立したが、
本町が受ける影響につい
て具体的なものはなにか。

町長 一番心配するのは、
手続きの問題などの混乱
である。

議員 組合や機械利用組
合では、問題はないと思
うが、個人で残る部分が
心配をしている。

議員 農業団体を通じて

でも、制度が変わったこ
とを親切丁寧に教えてい
く必要があると思うが、
それらについての行政の
関りはどのように考えて
いるか。

町長 新たな法律は、色
々な分野で大きく変革し
ている。三位一体改革の
中で混乱もしているが、

地域の方と十分話さない
と方向性が出しづらい部
分があるので、十分法に
照らして、地域の方のご
意見も伺わせていただき
ながら指導を綿密にやつ
ていくことになる。

議員 農業に関わる幅広
い人材の育成確保を促進
するため、高齢者や女性
経営者の問題について考
えや方針を聞きたい。

町長 女性の担い手とか
高齢者の担い手について
は支援をしてきた。今後
も集落営農とか法人化の
構成員として入っていた
だきたい。



Question



ひらみ こうじ
平見 光司 議員

一
般
質
問

Q 生涯学習拠点施設（中央公民館） の整備をどうするのか！

A

リニューアル工事を
平成20年度より計画している。



◀文化祭で発表する文化協会サークル

生涯学習拠点施設の整備

議員中央公民館については、築後 30年を過ぎ、老朽化が進んでいる。

また照明、音響設備や冷暖房の効率が悪い。障害者、高齢者に対して階段が多く、エレベーターも設置されていないため、バリアフリーに対応出来ていない。

アスベスト問題も取り沙汰されている状況であるが、今後のリニューアルの計画と、その総工費はどの位か。

町長 非常に厳しい財政状況にあることから、自立推進計画を実施している。

よつて中央公民館を計画的に改修する方針を昨年末の協議で決定した。

助役 平成19年度に設計、以後2カ年でリニューアル工事を実施する計画で関係機関へ申請を行なっ

ている。

リニューアルの総工費は概算で約4億1千万円ぐらいになる。

生涯学習行動計画 推進体制の整備

議員進捗状況はどのようになっているのか。

町長 平成17年度に、各課から1名、全員で12名の生涯学習ワーキングチームを組織し、行動計画案を策定したところである。その後、平成17年9月にボランティア団体の中から推薦された9名の委員による生涯学習推進協議会を設置した。ワーキングチームが策定した生涯学習計画案を協議会で検討し、平成18年1月に成案として答申し、生涯学習行動計画が策定された。5カ年の計画を立てているので、年次を追って、十分に協議しながら計画どおりに進めたい。

生涯学習相談体制の整備

議員生涯学習コーディネーター、アドバイザーの設置についてどのようなになっているのか。

教育長 生涯学習コーディネーター、アドバイザーの役目を果たす、社会教育主事の資格取得のため、講習会に参加させる。これにより、町民の生涯学習の支援が円滑に行なわれるものと思っている。



◀大ホール



学校・教員の取組みを情報提供し、
地域や保護者と協働・連携を！



みはらみつひろ 議員
三原 光広



今後、あらゆる方法で、
保護者や地域への情報提供に
力を入れる。



熱心に授業に取り組む先生

一
般
質
問

議員保護者、学校、地域、行政が、それぞれの取組みや行動の確認が周知、理解していない部分があるのではないか。

今年度より施行された人事評価制度の教職員の自己評価並びに業績評価の内容と目的、活用運用方法を尋ねる。

教育長 自己評価の内容は、教職員個人が、校長の学校経営方針を踏まえ、担当学年、担当学級、担当教科など項目の中で

具体的な目標を掲げ、学と施設管理の評価を教育校長とヒアリングを行い、委員長で行っているか尋ねる。

業績評価の内容は、自己評価を元に、校長や教育長が、学習指導に関する評価・生徒指導に関する評価・学級経営、校務分掌などその他の評価の項目を定め教職員を評価するものである。

目的、活用運用方法は、自己評価では、具体的な計画を立て実践、評価し

改善して行くというサイクルを通して、自らの職務アップと職能成長を図る目的である。

業績評価は自己目標の設定と自己評価における目標管理を踏まえ、教職員の能力、意欲、実績をよりの確に把握し評価することにより、職務遂行意欲の高揚や能力開発、適材適所配置などを進めるためである。

議員各学校の運営経営と施設管理の評価を教育委員長で行っているか尋ねる。

教育長 運営経営については、前年度の内外部評価結果を元に本年度教育指導計画により、校長・教頭・教務主任より説明を受け指導や助言、意見を述べている。

また、学校管理者である校長の業績評価において学校経営、学校管理運営、教職員の管理指導などが示してあり、考慮事項として学校経営目標を

明確にし、達成に努力しているか、あるいは施設設備の管理を適切に行い学校環境を整備しているかなどの項目が示してあり、日常の状況を把握するとともに、校長の自己評価を加味して教育長が評価している。

議員人が人を評価するため、それぞれが、取り組みや行動の内容、目的を、理解・確認を行って受ける。そのためにも、取り組みや努力を、幅広く情報提供し、協働連携を行うべきではないか。

教育長 人が人を評価するというのは大変難しい。取り組みや行動について理解や確認を行い、情報提供については、今後、力を入れていく。

Question



かた だ しいげん
堅田 繁 議員

Q 『愛国心』の評価項目がある通知表が使われている学校はないか！

A 町内3校の小学校では使われていない。



▲愛国心の評価項目が使われている通知表

教育基本法は改正するべきではない

議員教育基本法を改正する必要があると思うか。

教育長 国会では、継続の動向を見守りたい。

議員教育の目的は、子供たちの人格の形成にある。国を愛する心は国家に強制されるべきものではないし、ましてや国を愛する心情なんて評価できない。

議員 『愛国心通知表』が使われている学校はないか。

教育長 町内の小学校3校では、『愛国心』の評価項目はない。

議員通知表は使われていないが、広渡小学校・遠賀南中学校の教育指導計画(教科経営)の社会科指導項目には、『我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て』と明記

してある。改善させるべきだ。

教育長 教科経営と通知表の文言は整合性があった方がよい。各小学校長の解釈の違いがあったと思ふので確認する。この場で改善させるとは言えない。

障害者の応益負担の軽減をするべきだ

議員障害者福祉計画を策定されるが、当事者や家族並びに施設関係者の意見要望は反映されるか。

町長 身体は障害者福祉協議会、知的は四方の里の中から計画策定委員に入ってもらおう。それぞれの立場から意見は聞ける。

議員 4月の法改正で、施設利用時に一割の料金をとられることになった。町独自の軽減策を考えているか。

町長 施設及び居宅サービス利用者の町単独の負

担軽減は現在考えていない。

議員料金をとられるようになって、既に通所を控える人が出ている。自立を促すための施設なので、それを妨げる結果となつている。利用者に配慮するべきだ。

議員 アイスサービスから昼食代が値上げされ利用者が困惑している。元の400円に戻すべきだ。

町長 負担が急激に大きくならないように半額210円を補助して610円をいただいている。9月までの暫定措置だが、遠賀郡4町の共同運営なので現在協議中である。

議員 障害者が生きていくために受けるサービスを応益と見ていることが、そもそも間違っている。利用者は自分で食事することも、食べ物を選ぶこともままならない状況だ。値上げは許されない。

町を思うひとり言

一粒の種で 多く実った野菜や町



重廣 重利さん (74歳)
旧停区在住

私は、政府の言う三位一体は「財・税・政」、町の三位一体は「住民・行政・議会」と思っています。何度となく協議がされて来た4町合併の話も白紙になり、地方交付税や補助金の削減から、今後の財政運営が厳しいと言われています。思い切った経費等の削減による健全で効率的な財政運営を期待しています。

一方、町民の願う「福祉・教育・治安・環境」は重要な問題です。厳しい財政事情ですが、こうした施策に対する自主財源の確保に、行政と議会は車の両輪となつて町民のためにがんばってください。

私も74歳の高齢ですが、町の活性化や自立行政への協力、地域のお世話など続けられるよう、野菜づくりをしながら健康管理にも励みます。また、町民は今後の合併問題について、町の将来の変化に大きな関心を持っていきます。行政と議会は町民の暮らしを守る立場から、活発な議論を交わし、町民の視点を捉えてがんばってほしいと思います。

◎夏休みの水難事故にご注意を！



◀ 着衣水泳の授業の様子

夏休みが始まりました。この時期、全国各地では、高齢者や幼児、児童の水難事故が相次いでいます。本町も池や水路、クリーク、河川などの多いところでです。本町の各小学校では、水泳授業の時間に、着衣水泳の指導が行われています。衣類を着たまま水に入るこの大変さを実感し、事故防止に備え、浮き方、泳ぎ方などの指導を受けています。暑い日が続きますので、ご家族や地域で指導や危険性を伝えていただき、特に幼児、児童には、一層のご注意を払っていただきますようお願い致します。

第10回自治体総合フェア2006研修参加

テーマ

公民協働でつくる安心な社会

● 研修参加者
平見 光司 舩添 清美



◀ 自治体フェア講演の様子

7月12、13、14日かけ、東京ビッグサイト(有明・東京国際展示場)会場で、「地域の活性化や住民協働による自治体運営」、「自然災害に対する減災」、「児童を中心とした地域の安全問題」、「多様化・高度化する住民ニーズに対する行政サービスの向上」など、施策や政策運営の解決と支援の場としたテーマで開催されました。

また、関係省庁による基調講演や特別講演、自治体経営カンファレンス、電子自治体、まちづくり、住民の安全・安心・防災、公民協働、少子化、ユニバーサルデザイン関連等のセミナー、自治体の事例を紹介するワークショップセミナー等が行われました。

さらに、パネルディスカッションでは、今後の地方分権社会において自治体がなすべき取り組みと課題に対し、参考になった意義ある研修でありました。

残暑お見舞い申し上げます

—遠賀町議会議員一同—

福岡県民地方自治危機突破 総決起大会に議員団を派遣！

大会スローガン

- 一、根拠なき交付税の削減断固反対
- 一、新地方分権推進法の制定
- 一、税源移譲により地方の自立を
- 一、国庫補助負担金を半減し自由の拡大を

去る6月26日(月)、

福岡市のシーホークホテルにおいて福岡県民「地方自治危機突破」総決起大会が、福岡県内全自治体から総勢約3,000名の参加によって行われました。

今後、私どもは、政府・国会に対し交付税の削減阻止・地方分権改革の推進を強く要請をしていきます。

本町からは議会議員を始め町長、区長会の方々40名が参加しました。国の関係各機関に訴えるため、麻生県知事が本大会の趣旨、目的の説明を行い、末吉市長会長、山本町村会長が地方の要望を行いました。



全国の地方自治体は今、深刻な危機に直面していま

今月の題字

島門小学校(6年生)
池田 祥子さん



今回題字を応募してくれた島門小学校6年生の皆さん

編集後記

私が勤める会社の出入口にツバメが巣作りを始めた。私も社員も人の出入りの多い所なので追い払おうとしたが、ツバメにとってはここが最適と、強行し、巣は作られた。結局、警戒心が強く産卵には至らなかった。彼等の生んだ雛が成長し、南方に帰り、その子がまたこの日本で巣を作る。帰巣本能で子孫の保持を図るのである。

一方、人間社会では、子孫を残すべき親が子を、子が親を殺す。ツバメさえ懸命に産む責任、育てる責任を果たそうとしているのに、誠に残念で悲しむべき世相である。

(奥村)



委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
三原	堅田	舩添	田平	森	奥村	仲野
光広	繁	清美	征四郎	繁義	守	丈

議会だよりに関するご意見ご感想をお寄せください。
遠賀町議会事務局 TEL.293-1235
e-mail:gikajimukyoku@town.onga.lg.jp